



病院における療育環境づくりに向けた内装デザインと子どもたちの病気への理解を進める活動への参画

総合理工学部 教授 細田 智久、助教 三島 幸子

建築デザイン学科の細田・三島研究室は建築計画を専門としています。研究室では、(1)島根大学医学部附属病院の新生児集中治療のための周産期センター(NICU,GCU)の壁面デザイン改修(2021.3完成)、(2)同附属病院の小児科病棟処置室及び外来処置室の内装デザイン改修(2022.5完成)のデザインを担当しました。デザイン作成時には医療や保育のスタッフの意見を聞き取り、小児科病棟処置室では中高生までの使用も考慮して水族館のように。外来処置室は小学生以下が多いことから、森の中の動物たちを探している間にチクッとする処置が終わる空間を目指しました。

2022年9月からは同附属病院・島根県・松江市等との協働で「世界小児がん啓発キャンペーン・ゴールドライトアップ」に参加し、松江城や出雲大社をライトアップし、のぼり旗・スタッフTシャツのデザインを担当しました。

子どもの療育環境づくりに貢献すると共に、それを支えるご家族や医療スタッフの気持ちの面にも寄り添えることができればと思い活動を続けています。

